



絆の草中

23

草野中学校だより

発行責任者 校長 丹野 英雄

第23号 令和4年3月14日発行



人知れず涙する生徒、涙をこらえる生徒、正面を見ずえる生徒
～ 様々な思いを胸に卒業生が立派に巣立っていきました ～

3月11日(金)、在校生や保護者の方々に見守られながら、第75回卒業証書授与式を挙行し、73名の卒業生を送り出すことができました。学級担任から呼名され登壇した卒業生一人一人に校長から卒業証書を手渡した後、式辞を述べました。続いて、本校PTA会長の 坂本 稔 様からも温かいお祝いの言葉をいただきました。

校長式辞では、卒業生がいわき市や福島県の復興・創生のシンボルとして、様々な分野で活躍してくれることを期待しつつ、次のようなメッセージを送りました。

1つ目は、「親や家族」「友人」「恩師」「後輩」など、自分に関わりがあるかけがえのない人の存在を大切にしてほしいと説きました。

2つ目は、自分の生活を豊かにするために目標や夢や希望を抱き続けてほしいと説きました。

3つ目は、竹のようにしなやかで強い心を持ってほしいと説きました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、教育活動にも様々な支障や制限が生じました。しかし、私たちは感染リスクを回避するための「新しい生活様式」を取り入れ、互いに知恵を出し合いながら前向きに行動してきました。

自分の周りの人を大切に、目標や夢や希望を抱き続け、竹のようにしなやかで強い心を持っていれば、きっと、世のため人のために社会で貢献できる人間に成長してくれるはずです。

様々な思いが込み上げ涙する生徒、思いを噛みしめ涙をこらえる生徒、じっと正面を見ずえる生徒、見せる姿に違いはあれど、みんな輝いていました。それぞれの新たな進路に向け巣立っていった卒業生の前途に幸多きことを願っています。

卒業生の前途に、幸多きことを

3年生への感謝の気持ちを込めて「送る会」を行いました

生徒会主催による「3年生を送る会」を3月8(火)の5校時に行いました。実行委員が、全校生徒や先生方に実施したアンケート調査の結果を発表したり、これまで撮り貯めておいた写真をスライドで流したり、会場は爆笑と感動の渦に包まれました。

さらに、1・2年生の各学級代表から3年生にメッ

セージカードの贈呈がありました。メッセージカードには、3年生への感謝の気持ちと伝統を継承していくことへの強い決意が表れていました。

送られる側の3年生代表からも、1・2年生へ学校を託す思いと感謝の言葉が述べられ、会場は一体感と温かい気持ちで満ちあふれていました。

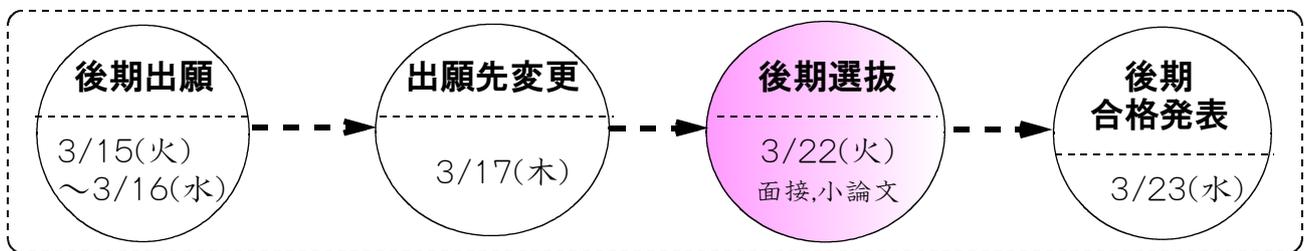


1・2年生から3年生へ学級ごとに作製した感謝のメッセージカードが贈呈されました。次のステージでの活躍を祈ります。

3年生は今～県立高校後期選抜のしくみ

県立高校後期選抜

県立後期選抜は、県立前期選抜までに定員に満たなかった高校で生徒を募集する制度です。今年度は、新型コロナウイルス感染症対応による追検査等も受ける機会がなかった受験生に対して、同日程で新型コロナウイルス感染症対応選抜も行われます。



【東日本大震災から11年が過ぎても……】

平成23年3月11日、午後2時46分に東北地方太平洋沖地震が発生し、大きな揺れが私たちの日常に襲いかかってきました。その直後には、福島・宮城・岩手の太平洋沿岸地域は壊滅的な津波被害を受けました。いわき市でも、たくさんの方が犠牲となられ尊い命を落とされました。さらに、追い討ちをかけるように福島第一原子力発電所がすべての電源を喪失し、未曾有の原子力災害が起きていることが明らかになりました。

元号も令和になり、11年前に起こった震災の記憶は徐々に薄らいできていますが、決して風化させてはならないと考えます。私たちは多くの犠牲の上に生かされていることを改めて深く考える必要があります。そして、日本や世界の国と地域の人々から温かい支援の手が差し延べられたことへの感謝を忘れてはなりません。そのことを皆さんと共に再確認しておきたいと思えます。

【教育目標】

自ら学び、考え、正しく判断できる生徒
絆を大切にし、思いやりを持って行動できる生徒
進んで運動し、心身ともに健康な生徒



〒970-0101

福島県いわき市平下神谷字宿25番地

TEL 0246-34-2208 FAX 0246-34-2771

E-mail : kusano-jh@city.iwaki.lg.jp